

I 人工腎臓部後期研修プログラム

II 研修プログラムの目的及び特徴

当部では、腎臓内科、救急科・集中治療部と協同して、おもに維持透析患者の入院透析、慢性腎臓病に対する透析導入、急性腎障害に対する腎代替療法およびアフェレシス療法を施行している。当部における業務の主体は、年間約三百数十名の慢性腎不全患者に対する約 4000 回の血液透析及び約 100 名の自己免疫疾患や神経筋疾患、潰瘍性大腸炎に対する約 500 回のアフェレシス療法の施行及び管理である。アフェレシス療法の施行回数は国立大学附属病院の血液浄化部で一番の施行回数であり、多くの症例を経験する事が可能である。また vascular access の作製およびカテーテル治療、さらに希望する場合には ICU における血液浄化法や集中治療管理、腎臓移植の手術も経験可能である。本プログラムは、血液浄化療法を適切に行いうる透析専門医、血漿交換療法（アフェレシス）専門医の育成を目標としており、3 年次の研修はその入門期間として位置づけられる。

本プログラムの目標は、

- 1 血液浄化療法の適応基準習得
- 2 血液浄化療法の施行法の習得
- 3 血液浄化療法に関する最新の知見を習得
- 4 Vascular access の作製・評価法・修復技術の習得
- 5 血液浄化チームの一員として、他と協力して医療を実践できる人間性の育成
- 6 研究・学会発表を通じた学際的な態度を習得

である。

本プログラムを終了することで、透析専門医、血漿交換療法専門医を取得できる。また大学院へ進学して血液浄化療法に関する研究を行い、学位を取得する事も可能である。

III 研修プログラム責任者、連絡担当者

プログラム責任者：浅 沼 克 彦（人工腎臓部 部長）

連絡担当者：服 部 憲 幸（人工腎臓部 副部長）

E-mail: hat@chiba-u.jp

IV 研修指導医

浅 沼 克 彦（教授、日本透析医学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、腎代替療法専門指導士）

服 部 憲 幸（日本透析医学会専門医・指導医、日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医、日本急性血液浄化学会認定指導者、救急科専門医・指導医、集中治療専門医、腎代替療法専門指導士）

若 林 華 恵（日本透析医学会専門医・指導医、日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医・指導医）

鈴木 倫子（日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医，日本腎臓学会腎臓専門医・指導医，ECFMG certificate，米国インディアナ州医師免許）

石井 公祥（日本内科学会認定内科医）

V 研修過程

1 研修期間割

3年次：大学で研修

4年次：関連病院，大学で研修．または大学院進学

5年次：関連病院，大学で研修．または大学院で研究

6年次：大学院進学，研究，または大学で研修

透析医学会専門医，日本アフェレンス学会認定血漿交換療法専門医は6年次に取得可能（基本領域の専門医および学会会員歴が必要）

関連病院：

地域医療機能推進機構（JCHO）千葉病院

聖隷佐倉市民病院

国保旭中央病院

成田赤十字病院

2 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月曜日	ICUカンファレンス，透析管理，手術	透析管理，手術，ICUカンファレンス
火曜日	ICUカンファレンス，透析管理	透析管理，ICUカンファレンス
水曜日	ICUカンファレンス，透析管理	透析管理，ICUカンファレンス
木曜日	ICUカンファレンス，透析管理	透析管理，VA外来，透析カンファレンス，ICUカンファレンス
金曜日	ICUカンファレンス，透析管理	透析管理，ICUカンファレンス
土曜日	ICUカンファレンス，透析管理（当番制）	

3 研修内容と到達目標

日本透析医学会「透析専門医診療実績」に準じる．

VI 評価

卒後 6 年終了時：日本透析医学会透析専門医，日本アフェレシス学会認定専門医試験
（書類審査，診療実績，論文・学会発表，筆記試験，試問）

VII 専門医取得後の進路及び大学院進学，海外留学コースなど

後期研修中 4 年次または 6 年次に大学院進学。

大学院卒業後，希望により海外留学（主に米国）可能。